

ゆたかクラブ豊橋だより

吉田春秋



第70号

■発行/ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会) ■編集協力(株)博報社/名古屋市北区田幡2-13-23 2F-B ☎0120-0212-09



第59回豊橋市高齢者福祉大会

主催 豊橋市・豊橋市老人クラブ連合会

第59回豊橋市高齢者福祉大会



～花贈りパフォーマンス～
堀田秀夫・仲子ご夫妻

昨年の11月30日(水)、ダイヤモンド婚(結婚50周年)と金婚(結婚60周年)を迎えられたご夫婦を祝う第59回豊橋市高齢者福祉大会が公会堂で開催されました。主催は市と市老連。参加したのは、ダイヤモンド婚のご夫婦45組と、金婚のご夫婦85組です。



～ダイヤモンド婚～
岩月淳一・百合子ご夫妻



～花贈りパフォーマンス～
斎藤慎一・朋子ご夫妻

はじめに主催者を代表し、浅井市長と市老連の今川会長があいさつ。激動の時代を生きた皆さんに感謝と今後への期待、お祝いの言葉を述べました。

祝詞贈呈ではダイヤモンド婚の岩月淳一・百合子ご夫妻、金婚の伊達勲・朝美ご夫妻が代表として壇上へ。市長より祝詞を受け取ると、会場からは大きな拍手が贈られました。

来賓の祝辞をいただいた後、「花男子」の花と音楽による感動の「花贈り」パフォーマンスがスタート。登壇した2組は夫から妻へ感謝の言葉を添えて、花を贈りました。会場のすべてのご夫婦にもブーケが配られ、全員で一斉に花贈り。会場は一気に温かな雰囲気になります。笑顔の花が満開。長年連れ添った大切なパートナーとの絆が深まる大会になりました。



～金婚～
伊達勲・朝美ご夫妻

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています



第54回 趣味の作品展

広報文化部長 鈴木 輝男

令和4年10月19日(水)から21日(金)の3日間、豊橋市民文化会館2階展示室で、第17回とよはしシニアフェスティバル・第54回趣味の作品展が行われました。今回



は、出展者数が191名(昨年189名、設楽町14名含む)出品点数が242点(昨年235点、設楽町出展19点含む)と、昨年を上回る出展者数と作品数でした。来場者も3日間で437名と前年の413名を上回ることが出来ました。特に手工芸の67点(前年57点)俳句・川柳の43点(前年38点)は出品点数増に貢献頂きました。また、絵画、ちぎり絵・塗り絵・切り絵、絵手紙、写真、書道、水墨画などの作品はどれも力作ぞろい、各作品の前で立ち止まり見入る人を多く見かけました。

このような趣味の作品展 今回のシニアフェスティバル期間中は、新型コロナウイルス感染症が第7波の感染拡大から「4回のワクチン接種」と「3密を避ける」「マスク着用」などに



に出展するために、集まったり練習することは、作る楽しみや創作意欲の高揚のみならず、仲間同士のつながり・話し合いがあり、生きがいづくりやフレイル予防にもなるのではないのでしょうか。

新年あけましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃よりゆたかクラブ豊橋の事業にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、2022年は、新型コロナウイルス感染症の流行が始まって、3年が経過していただき、2年ぶりの

このように、ゆたかクラ

方、2023年の干支は「癸

とさせていただきます。



新年のご挨拶

ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会)
会長 今川 智嗣

開催となった11月のグラウンド・ゴルフ大会も300名以上の方に

ご参加いただき

卯(みずのとう)で、「こ

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

各種スポーツ大会結果報告

高齢者に適したスポーツを通して、高齢者の健康を保持し、生きがいを高めるとともに、高齢者相互の親睦を深めることを目的とした大会を開催しました。

第24回 ペタンク大会

予選リーグ戦を行った後、勝ち残った15チームにより決勝トーナメントを行いました。

令和4年9月29日(木) 8:30~14:00

豊橋球場にて131名(44チーム)参加

主催：豊橋市老人クラブ連合会(ゆたかクラブ豊橋)

共催：豊橋市、公益財団法人豊橋市スポーツ協会

主管：豊橋ペタンク連盟

◎大会結果

順位	チーム名
優勝	津田 A
準優勝	富士見 C
第3位	杉山 B
第4位	花田
第5位	杉山 C
第6位	二川南 A
第7位	小沢 A
第8位	富士見 D



第46回 ゲートボール大会

参加チームを2ブロックに分けて実施し、順位は勝数・得失点差・対戦成績及び得点率により決定しました。

令和4年9月29日(木) 8:30~14:00

豊橋球場にて48名(9チーム)参加

主催：豊橋市老人クラブ連合会(ゆたかクラブ豊橋)

共催：豊橋市、公益財団法人豊橋市スポーツ協会

主管：豊橋ゲートボール協会

◎大会結果

順位	チーム名
優勝	高山チーム
準優勝	花田チーム
第3位	牛川チーム



第10回 ゴルフ大会

9ホール(ダブルペリア方式)にて実施しました。

令和4年11月18日(金)

新城カントリー倶楽部にて114名参加

主催：豊橋市老人クラブ連合会(ゆたかクラブ豊橋)

◎大会結果

順位	氏名	校区名
優勝	柴田 仁	小沢
準優勝	寺内登志雄	杉山
第3位	大林 潔	津田

〈ドラコン賞〉

コース	氏名	校区名
北コース6番	松下 四郎	前芝
東コース9番	今泉 勇	杉山
南コース3番	梅沢 修治	吉田方

〈ニアピン賞〉

コース	氏名	校区名
北コース3番	穂浪 静	植田
東コース2番	芦沢 博行	新川
南コース4番	小林 一男	牟呂・汐田



第24回 グラウンド・ゴルフ大会

赤・青の2コースに分かれて男女別個人戦、16ホールの合計打数をもって競いました。

令和4年11月10日(木) 9:45~14:00

豊橋球場にて305名参加

主催：豊橋市老人クラブ連合会(ゆたかクラブ豊橋)

共催：豊橋市、公益財団法人豊橋市スポーツ協会

主管：豊橋グラウンド・ゴルフ協会

◎大会結果

総合優勝

男子の部 藤城 昌三

女子の部 立岡か津代

コース	順位	氏名	スコア
男子赤コース	優勝	中村 鉄男	27
	準優勝	鈴木 克也	33
	第3位	佐々木勝明	34
男子青コース	優勝	藤城 昌三	37
	準優勝	西川 誠	37
	第3位	神谷 智	38
女子赤コース	優勝	立岡か津代	36
	準優勝	原田 静江	36
	第3位	山中しづ代	37
女子青コース	優勝	竹内よし子	30
	準優勝	鈴木 久子	37
	第3位	馬場 一枝	37



第10回 ボウリング大会

2ゲームの合計スコア(団体は1チーム5名、同スコアの場合は2ゲームの得点差が小さい方が上位となります)を競いました。

令和4年12月15日(木)

岩屋キャノンボウルにて70名(14チーム)参加

主催：豊橋市老人クラブ連合会(ゆたかクラブ豊橋)

◎大会結果

○団体の部

順位	チーム名	スコア
優勝	吉田方 A	1720
準優勝	牛川	1583
第3位	新川	1551

○個人の部(男子)

順位	氏名	チーム名	スコア
優勝	小柳 良男	大清水	381
準優勝	白井 章允	多米	371
第3位	鈴木 明	吉田方 A	364

○個人の部(女子)

順位	氏名	チーム名	スコア
優勝	大羽 孝子	牛川	323
準優勝	金野 安子	幸	312
第3位	堀田 伸子	吉田方 B	304

※上記の賞以外に、飛び賞(10位ごと)、プービー賞を贈呈しました。



私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

校区・単位クラブ活動

岩田校区

「ヘブンスそのはら」
ロープウェイで空中散歩

岩田校区老人クラブ連合会 伊達 勲

2022年11月1日(火)、今年の日帰りバス旅行は、3年ぶりの開催となりました。健康保険証と、ワクチン接種証明書を用意し、楽しみに待ちました。旅行支援補助が適用され、長野県のお土産クーポン3000円も付いて、とてもお得でした。20名の参加でしたが、本当にいい時に行きました。でも天気は前日まで晴れだったのに、当日は1日雨で、傘をさしての旅行になりました。



そして次の日からずっと晴れていました。さて、当日は豊橋を7時15分に出発し、東名高速、東海環状、中央道を通って、ヘブンスそのはらでロープウェイに乗りました。雨にぬれた紅葉もきれいで、霧もかなりかかっています。小雨の中の雲海の山々はとても神秘的でした。



そして飯田での待ちに待った昼食です。地元野菜とキノコの豚しゃぶしゃぶ食べ放題です。フリードリンクとミニスイーツバイキングもありました。生ビールはお買物クーポンが使えました。あまりのおいしさに夢中になり、写真を撮るのをすっかり忘れてしまいました。りんご農園や空中散歩、天竜峡へも行きました。ずっと雨でしたが、お買い物もいっぱい出来て、帰りのバスの中のビンゴゲームも楽しかったです。

今後の老人クラブ発展に繋げて行きましょ。

富士見校区

会員の知恵と努力で
コロナ禍に打ち勝つ

富士見校区老人クラブ連合会 上妻 貢

晴天に恵まれた「ウォーキングとスポーツ交流会」が、11月12日(出)9時から11時まで、坪ノ谷公園グラウンドで開催されました。当日は参加者50名で、ラジオリングとウォーキング(約1500m)、ペタンク、グラウンドゴルフ、輪投げなど、それぞれが自由に種目を選択し、参加者全員が汗をかきながら、楽しく交流を行いました。従来この行事は年1回ですが、今年度はコロナ感染拡大の影響で、他の行事が中止となったため、急遽2回開催する事といたしました。

今の老人クラブの現状を考えると、おそらくこの校区の老人クラブの皆様も、コロナ感染拡大により、年間の行事がコロナ禍以前に比べると50%弱の取り組み状況かと思えます。このまま放置していれば、会員相互の交流が徐々に減ってしまい、会員の減少につながって行くかと思えます。ぜひとも皆様方の「知恵と努力」で、この状況を打破



ペタンク「もう少しいって」



グラウンド3周 1500m ウォーキング

岩田校区

花吹雪の中でウォーキング

岩田校区老人クラブ連合会 河野 稔



参加予定者全員に連絡しました。4日なら参加出来たのに6日は都合の悪い人も出ました。参加予定者への確認に加え、お弁当屋さんへの連絡とか色々ありましたが、143人の参加で無事行われました。

「桜くらは私達が子供の頃は入学式が満開だったのに、地球温暖化のためかのかん？」 「でも散るさくらもきれいだがや。」 と話しながら、水神池のまわりを2周しました。1周750メートルですから、1500メートル歩き、良い運動になりました。

4月4日(月)の予定でしたが、天気予報は雨とのことで、4月6日(水)に変更しました。そのため、役員で手分けし



「さあ、お昼ごはんです。昨年はお弁当は持って帰りましたが、今年は池のまわりにビニールシートを敷いて、お花見弁当を食べました。その時は水神池に水がなかったのが残念でした。「やっぱり水のある水神池が趣があつていいね。」 「そうそう絵になるしね。」 と会話を交わしながら、楽しい時間を過ごしました。

岩田校区

喫茶店にて作品展

平岡区老人クラブ若竹会 伊達 朝美



「わかつたけ」で作成した作品を展示して、皆さんに見てもらいたいと思い、町内にある喫茶店で第1回「わかつたけ作品展」を行いました。今までに作成した絵手紙、ぬり絵、消しゴムハンコ、会員の方が写された水神池の写真も展示しました。

コーヒーを飲みながらゆっくり見てもいいと思います、見に来て下さった方には、お名前と共に一言感想を書いてもらうノートも用意しました。若竹会の会員の皆



さんの中には色々な趣味をお持ちの方がみえます。もっと多くの皆さんに出品してもらいたいと思います、第2回作品展を2023年3月に予定しています。

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

校区・単位クラブ活動

新川校区

ウォーキングの楽しさ

第二向山町楽寿会 野口八重子

11月9日(水)、「新老連(新川校区老人クラブ連合会)」の行事でウォーキングの会が開催されました。コロナ禍で感染拡大の影響を受け今まで活動ができていませんでしたが、役員の方々のご協力でも実施する事ができました。当日は天候にも恵まれ晩秋の小春日和、雲一つない青空の元、コースは三川駅から本陣、旅籠屋、商家の3ヶ所を見学できる宿場町付近のウォーキングコースでした。参加者34名コロナ禍で旅行に行けずじまいの毎日でしたので、この日を楽しみにしていたため道中、涙が止まりませんでした。江戸時代に東海道を旅する人達も仲間とおしゃべりしながらこの道を歩いたのかしらと思いをめぐらせたり普段は急いでいてあまり見上げることのない空の雲や秋の美しい自然に触れる思いがけずじまいの毎日でした。今日1日で14000歩と云う万歩計の数字をお仲間から知らせていただき驚きでしたが、コロナ禍の中、毎日を無事に過ごせるありがたさを噛みしめ地域の皆さんとの交流を大切に体力の衰えを感じながらも自分のできることを続けたいと思います。

玉川校区

みんなで楽しんだウォーキング兼ゴミ拾い活動

和楽会 佐藤 隆洋

秋空の元、朝から薄日が差し込む静かな1日の始まり、強いまぶしい程の日差しは無く高齢者がほどよく動く午前8時45分。1ヶ月ほど前から計画された「ウォーキング兼ゴミ拾い活動」に賛同した若者20名が時間通りに徒歩と自転車集合しました。令和4年10月30日(日)

玉川校区

生垣剪定ボランティア活動

和楽会 渡辺 政志

前年度に続き、恒例の「生垣剪定ボランティア活動」を令和4年10月2日(日)、秋晴れの1日、午前9時から和楽会の有志24名が集まりました。ここ数年の近い将来「東海大地震」の発生確率が大変高い時期に来ていると毎年防災の時期が近づくと話題になります。来るべき時に備え、危険と想われるブロック塀を、私達の町内でも自発的に改修工事を行う方がお見えになりました。この日は、刈り込み、そして仕上げを丁寧に行い、最後をきれいに清掃して切り枝の置ける御屋敷は指定場所へ山積みして自然分解させて頂きます。自家処理出来ないお宅はゴミ袋に詰め町内ゴミステーションに運び処分しました。休憩を取りながらあれやこれやとやり取りの多いこと。それでも女性陣が段取りよく最後をきり、男子16名女子8名の自称「匠」のメンバーが集まりました。担当者の注意事項をしっかりと聞き、コロナ対策もばっちり守り、指定された場所に5人〜8人で向いました。狭い町内の事なので担当者が一言いえば即状況が把握出来る程全員が周知している場所です。その場に必要道具まで段取り出来る程です。



の茂みに捨ててありましたが今回は軽トラの手配ができたことからの回収に回すことにしました。10月下旬に入り、一気にすすむ朝夕の冷え込みが老体に堪えます。周辺の柿畑では一家総出の収穫作業、忙しい脇を挨拶を交わしながらのゴミ拾い。樹木に絡んだツルの先にまるまる太った大きな「アケヒ」15cmはある大口を開いて白い果肉を覗かせる。よく見れば1つ2つでは無い。奥に4〜8個のすずなりだ。前回(令和4年2月7日)の「ゴミ拾いで清掃できなかった所は今10人程で一気に拾い集め、ゴミ1つない綺麗な通学路に変身しました。倒れていた立て看板も復活させ一段と綺麗になりました。ウォーキング気分が楽しいゴミ拾い活動のはずが、いつしか両手いっぱい「ゴミ袋」家々の軒下に咲く「コスモス」の花がほんの少し心を和ませてくれました。生活道路がこんなに汚れている私達の地域。ものすごく恥ずかしくなりました。毎回の年金は目減りの一途。諸物価高。働いても働いても楽にならない生活。身も心も益々貧しく汚れてしまつ世の中が残念でなりません。



コスモスの花の様に素朴でホッと心を癒してくれる道端の清らかさ、刈り取りの終わった株間に立つ無人販売、袋に入った柿の実4個100円の値札が、無茶苦茶に「玉川校区」の今を表現している様で嬉しかった。ここを通行する人はきつと「ゴミ捨てをしないと悪いながら重いゴミ袋をかついで帰りました。全員で分別を終え、一般ゴミ5袋、ペットボトル3袋、缶4袋にまとめ、組長さんと女性部長が準備したお弁当お茶そして柿を頂いて現地解散。みなさんお疲れさまでした。

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

会員随想



古のロマンに 史たる・

古墳めぐり②

玉川校区 和楽会
杉浦敬一

小学5年生の頃だと記憶している、社会勉強で学年(2クラス)全員で歩いて見学に来たことがあった「宮西古墳」は、火の見やぐらを目印に東に20mほどはいった狭い農道の脇にうっそうと雑木で囲まれ、「イモがま」の中に入った感覚だった事を覚えていません。今日は学芸員の立ち合いで内部の説明と規模、歴史の背景を知りました。



更に驚いたことは小高い丘の上に大小11基の古墳が未発掘のまま現存することです。地元に住ながら初めて知りました。今日はその一つ一つをパレットを頼りになだらかな斜面にこもり盛りあげた位置を確認しながらゆっくり散策しました。

この地に500基ほどの古墳があり、良好な状態で観察できるところは全国的にも貴重な「郡集墳」と教えて頂きました。感動しながら向かった次の目的地「明塚南古墳」は、県道を横切り狭い農道の柿畑を手を伸ばせば楽に収穫できそうな枝を交わしながら300m程歩くと二張りの大きなテント。すでに数人の人が出土品の前で説明を聞いて

とつない大空の下、静かな柿畑の中で悠久の歴史ロマンに浸りました。

新聞を読んで

福岡校区
橋良老人クラブ東みどり会
寺田 亮一

新型コロナウイルスも、少し見通しが立ってきたような気がいたします。人間にとって大きな試練であった気がいたします。中日新聞を読んでいてこの所、気になる記事が多いので書き留めてみました。

5月31日(火)、来春「研究者大量雇止め危機・頭脳海外流失の恐れ」あり、「東京大(346人)東北大(236人)名古屋大(206人)国立大86校・他に文科省所管5ヶ所の研究所を含め3756人に及ぶ。」要するに国の予算がないから、研究者を再雇用するしない、大学側の判断に任せると丸投げである。コロナウイルスの国産ワクチンが未だ出来ていない日本が、この様な事ではないのでしょうか? 研究者には生活があります。当然海外流失は避けられないと思います。残念です。6月3日(金)、アジア大学ラウンキング、中東を含む(31ヶ国)616大学が対象、講義や研究環境の充実度・海外からの留学生や教員の受け入れ状況等、13の指標を基に順位を決めた。

①清華大(中国)②北京大(中国)③シンガポール国立大(シンガポール)④東京大⑤京都市大⑥東北大⑦東京工業大⑧名古屋大⑨大阪大、この順位はアジアに於けるラウンキング。因みに世界ラウンキングは①オックスフォー

老人クラブを 楽しもう

二川校区
二川のんほいクラブ
三浦 常子

「のんほいクラブ」これは何? 私達二川老人クラブののんほいクラブです。近くには動物園ののんほいパークがあります。岩屋観音様も見ています。老人クラブはちよっとと言つてものんほいクラブにどつぞだつたら楽しそう。のんほいはこの地域の方言で相手の話に「そつだのん」とか人に声をかける時「のんほい」「のんほい」と言つて姑や母がよく使っていた懐かしい言葉です。私も60歳を過ぎた頃、老人クラブに誘われて老人クラブはまだ早いわと思つていました。けれどいつの間にか後期高齢者になりました。無事に生きて嬉しい様な歳をとつて悲しいような微妙な気持ちです。でも今はのんほいクラブで皆さんとワイワイ楽しいことばかりです。のんほいクラブは部が沢山あって、ウォーキング、グラウン

ド大(イギリス)②ハーバード大(アメリカ)③カリフォルニア大(アメリカ)、アジアからは⑩北京大⑪清華大⑫東京大⑬京都市大⑭日本は100位までに右記大学2校のみです(インターネット記載)。東大が36位とは信じがたい実情です。

コロナも火か? 待望の サロン活動再開 第一回講座

玉川校区 和楽会
高木美佐子

最近の雷神様は虫の居所が悪いのか下界の住人には困つたものだ。急に降りだし道路が冠水する程。またそれだけでは収まらず、土砂崩れや河川の氾濫と暴れ放題、そんな予報が朝から流れる我が家のテレビ。

令和4年7月16日(日)10時45分、雨の合間をぬつて、急ぎ足で14名の会員が集まりました。すでに「さわらび地域包括支援センター」の3人の先生は持ち切れない程の資料を運びこんで準備をして頂いています。

担当者の案内で手消毒をすませ席に着きました。マスク着用、席も間隔をおいて座椅子に座り講座資料に目を通して見ると、担当者が「フエイスシールド」を持ってきました。充分なコロナ対策に越したことはないですが、湿気が多い室内を更に東西の引き戸を全開にして、これでもかと

気を配った会場でした。

10時を少し回った所で簡単な会長さんの挨拶、朝早くからお越しいただいた講師の先生を紹介するやいなやマイクを渡し熱いソフトな語り部でスタートしました。目の前の100インチ程の大型スクリーンに本日のテーマ「認知症」について。まず驚いたことに65歳以上になると4人に1人の割合でいる事でした。単純に考えてこの会場で3・5人の候補者がいる事になります。前後左右をつい振り向いてしまいました。認知症は「脳」の病気で知らない内にかかるそうです。昔皆で歌った童謡、納所弁次郎作曲、石原和郎作詞の「ウサギとカメ」の歌を合唱しながらおもいきり背伸びをして「グー・チョキ・パー」の反射動作が脳の活性化に効果があると聞き何度も繰り返し行いました。



また怒つたりせず家族や周囲の人が病気を理解することが大切だそうです。目新しい

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

スライドが展開する中で、私達の真面目な聴講姿勢を和らげるはからいか、講師の先生3人が「ボケ老人がゴミ捨てで問題を起こす」という想定で寸劇を披露してくれました。ところが本題を外れて私達町内のゴミ(分別)問題まで話が膨張してしまい、真剣な議論になりました。残念な事に自治会役員を今日の講座に招待していなかった為、お話を元に戻して講座の先生も一瞬戸惑う一幕を棚上げにしました。

いずれにせよ1人で悩まずに民生委員に相談したり、地域包括支援センターに相談したりあるいは「豊橋おかえりネット」に登録することで行政の支援を頂くことも解決の一つの方法と聞き安心しました。

時刻も11時を少し回った時、突然雨雲が割れればかりの音で鳴り渡りしはし沈黙。お話のきりのよいところで会長が閉会挨拶。面白おかしくクイズを交えたり、寸劇を見せたり体操を取り入れた講演に心から拍手をおくり閉会となりました。

**暑さも吹き飛ばす
ワンストライクに拍手
「石巻ブロック
スポーツ大会」**

玉川校区 和楽会
鈴木ふみ子

令和4年7月11日(月)8時、雲の間から真夏を思わせる鋭い日差し、緑と美しい山並みに囲まれた「石巻運動広場」。早朝の小鳥のさえずりを聞きながら散歩する老夫婦、愛犬とお散歩するヤングママ。ごくありふれたところに

でもある早朝の石巻山麓。特産品の次郎柿があちこちで太陽光発電に変わってしまつた畑を抜け、田植の終わった水路を少し上流に歩けば市中心部と三河湾を見渡せる小高い中腹にたどり着きます(東光寺駐車場)。

石巻運動広場は農道道路脇に野球グラウンド4面を設定出来る大変広い運動広場です。周囲を「夾竹桃」天神から脈々と湧き出る沢伝いにあり「モミジ」「金木犀」「イチヨウ」が四季を伝える運動広場に北は賀茂、西郷校区、お隣りは高山校区の皆さんが互い相乗りして今日は「腕におぼえのある」紳士淑女の皆さんがシルバードッペンを輝かせて2ヶ所の駐車場に43台のマイカーで集結しました。

グラウンド・ゴルフ11チーム、ゲートボール3チームの2競技を約80名の「ゆたかクラブ会員」が受付を済ませ(体温、体調確認、手洗いを済ませる)、ほとぼる汗を拭いながら各チーム3年振りの熱戦を楽しみました。

事前の天気予報では雷注意報、大気不安定の中激しい雨が降るとか。「戻り梅雨」、上空に寒気が流れ込むとか?気の抜けない開催日になりました。実際、3年前に開始してゲームも中盤にさしかかった時、突如土砂降りの雨に見舞われて大会が中止になった事がありました。まだ記憶に新しいことです。

開始時刻にはすでに気温もグングン上昇し靴底が焼けるほどになり、開催担当者がこまめに水分補給をすすめてチームリーダーにゲームの合間合間に休憩を勧めるほどのグラウンドコンディション(熱中症警戒アラート発令寸前)でした。

た。気合の入った「実年者」が優勝を目指して左右にカラフルな帽子で強い日差しを避け、首筋にまとわりつくタオルで噴き出す汗を拭いながら死にも狂いで1番ホールから8番ホールのコースを、3ゲーム頑張りました。その結果、優勝は「賀茂チーム」、準優勝は「高山チーム」、3位は「玉川Dチーム」の結果でした。健闘むなしく我がチームは惜しくも7位でした。

近年にない程の暑い大会でした。各チームリーダーの進行と大会役員の連帯で、事故もなく安全に無事予定時間内で終了したことは何よりでした。御苦労さまでした。各チームの健闘をたたえ表彰式とお弁当を頂いて足早に解散となりました。今日は疲れれました。早速シャワーを浴びてぐっすりお昼寝タイムに入ります。

奈良の古墳めぐり

花田校区
西羽田町ゆたかクラブ
羽田 光江

大型連休を利用して奈良へ行った。今回は古墳めぐりの計画で泊予約して出かけた。途中室生寺で五重の塔と数々の宝物の仏像を拝んだ。翌日、橿原神宮前から赤力メ周遊バスを使い目標の地点まで歩いて見学するコースだ。最初は以前にも来て感銘を受けた飛鳥寺で日本最古の仏像と云う飛鳥大仏を拝観。この大仏は蘇我馬子が創建の美しい顔立で親しみやすく何度見ても好きだ。十数年前には甘樫丘とかサイクリングで回って百人一首に出てくる畝傍山、耳成山、天香久山を味わった。

1ヶ所まだ見学出来ずにいた石舞台古墳が今回は目標だ。石舞台古墳は写真で見ても予想はしていたがその巨大さに一層驚く。日本最大級の横穴式石室で内部も入って見学した。側溝もあって水はけも良く計画されている。巨大石を台形のように組んで安定を保っている。石材の重量は2300tにも達すると云う。その組み方の想像図が絵にして示されていて、昔の人々の努力の賜物が想像出来る。高松塚古墳も壁画館の展示館も遠かったが歩いて廻って見学した。



後で今井町へ電車で行った。古い町並がこれ程多く整備して保存されているのに又大きな感銘を受けた。外観だけでなく、内部の建具の組み方が、カギのかけ方等、工夫の数々が現れて本当に感心した。

電気自動車で途中充電しながら主人1人運転で遠出出来たことに感謝している。この年齢で再度奈良見学出来た

事、本当にうれしく、しっかりと記憶しておきたくてペンをとった。

たたのはたらたら

栄校区 大空会
小山 正博

私は明るいシンゲルマザー。24才前は花子。

交通事故で夫をなくしました。保険と加害者側の補償で暮らしています。息子が1人。仕事しているのは、世間と交わる為。今日は七夕。友人に誘われて花の公園に出かけました。アキシメントも良いし、不公平感も抱かず、「定め」と受け入れて生きていくのが私の信条です。

川べりを歩き、せせらぎが聞こえ、かすかな風を肌にあけながら、心は寛いでいました。ふたんから、自然に触れるのが大好き。森林浴、雑木林の散策。消費するのは近くまで行くガソリン代、食事代もコーヒー代もいらぬ低コストのしあわせの満喫。

公園には綺麗な花がいっぱい咲いていました。私は優しい気持ちで広がっていきました。気持ちに与える花の力です。すごいなと思いました。夕方幼稚園から帰ってきた息子が、歌を歌い始めました。「たたのはたらたら」。

の発音がうまくできないのです。通訳すると「笹の葉さらさら」です。幼稚園で習ったのかな。それは楽しそうに歌っていました。私も真似して歌いました。

すると私の心はα波に満たされて、幼少期の時に戻っていました。それを見ていた息子が一緒に歌い始めました。ふたりで合唱です。息子はまだ「さ」がうまく

言えません。いいの、私はおせりません。私は息子を抱きしめました。懐かしい時に戻してくれた息子に感謝して。

水呑百姓奮戦記II

玉川校区 森遊会
鈴木 福夫

百姓とは? 百の作物を作ります。作物によって酸性土壌を好むもの、アルカリ性がいいもの。さらに同じ作物でも「早生」「中生」「晩生」。収穫時期が異なるからにように気を付けています。

百姓の良いところは採れたてのうまい野菜がたべられること。トウモロコシと枝豆、アスパラガスは湯を沸かしてから収穫しろ、と言われます。糖度がすぐ下がるからです。キュウリとナスを私は生でかじるのが好きです。スーパーでは味わえない味です。

私にしか作れない作物もあります。「福らナス」です。もう20年も自分で種を取り、残してきました。ステキにすると舌の上でとろけます。絹の舌触りと表現してくれる人もいます。「福らナス」のファンも大勢います。

ロメイソレタスとコルラビも作ります。自分が食べたからつく。しかし購買者が少ないのでなかなか売れないです。

朝は太陽を見るとヒズルシイと思い、花を見るとケッコイナと感じ、今日も一日コンキイ仕事をシナクツチャ、で始まります。畑に行くことコジユケイが「チョットコイ、チョットコイ」と呼び、ウグイスが「ホーホケキョ」と鳴っています。

また今日も1日百姓仕事を頑張ります。

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

神やどる聖地 3年振りの復活 町内・子供神輿 に参加

玉川校区 和楽会
杉浦伸治

令和4年10月9日(日)、午後1時30分、怪しい空模様、今にも降り出しそうな低い雲海、天気予報ではとくに雨が降っている予報に…。

今日は榎本八幡社の「秋祭り」。大勢の子供と父兄が色とりどりのハッピー姿で元気にはしゃぎまわっている。大型台風の影響もかろうじて免れ、実りの多い穂首をおもいきり垂れ下げ、赤とんぼが我が秋を一人占めしています。式典を知らせる花火の号砲が頭上をボン、ボン、ボンとはじけるように町内を包み込み、子供神輿の出発です。

コロナ禍も大人から子供に広がり、祭りも最小の規模で計画され「爆竹」も無し、神輿の「掛け声」も無し、神輿コースも最短に縮小して、当然、公道での「爆竹」「掛け声」も無い静かな行進、「マスク」着用、ほど良い距離を保ち、密を避ける、祭り実行委員会の決定を守りながらの「子供連神輿」。例年なら神輿やぐらにまたいでポーズを決めるサービスマンの神輿も今年は4人の御父さんの肩にすっぽりおさまる静かに町内を歩きました。孫達の可愛いハッピーがはじける姿も無く、肩車に載った物静かな神輿連、手を伸ばせば次郎柿の大きな果実がここ1〜2日ですっかり色づいた柿も、祭りが終われば収穫を待つばかり、子供の背丈ほどに伸びたコスモスの花

が赤、白、ピンク、黄色と咲き誇り、静かな神輿に花を添えていました。いつもの年なら門口で待っているお爺さん、若いお母さんに抱っこされた赤ちゃん、介護施設の前では車いすで出迎えてくれるお年寄りの一団、今年はそんな光景はありません。

老人クラブの有志5人による先導も顔見知りの軽トラに丁寧な道を譲り、1.2キロのコースを静かに1時間程かけて練り歩くと、いつしか人数も自然に膨れ上がり100人程がお社に帰りました。大きな鳥居をくぐり西に伸びる参道、宮参りを迎える1基の塔楼を過ぎるとそこはすでに「神の聖地」。待ち受けた神職から「お菓子」を頂き、更に鉢巻き姿も決まった若い衆に「投げ餅」を頂いて無事解散となりました。

榎本八幡社の秋祭りは、過去に何度もテレビで放映されたいきさつがあります。最近ではNHKの朝ドラ「エール」での収録スポットで一躍有名になりました。時を同じくBSテレビでは30分にも及ぶ特番で数回放送され、全国に知れ渡るほどのものでした。一時は市観光課の協力もあり一大聖地の1カ所に加えられたほどでしたが、運の悪いことに「コロナ禍」に遭遇してし

まい、目の目をみる事はありませんでした。今日ばかりは御神木様も眼をつむり、3年振りの賑わいに榎本八幡社の昇り旗が力強くなびいていました。



この記事は、ご本人の希望により、非公開といたします。

見立てられた時には、ドキッと飛び上がるほど嬉しくなります。新しい自分を求めて今日もかがやきながら細腕で頑張ります。

中^{ちゅう}有^う

松山校区
中松山町睦クラブ
堀内三朗

中有とは、仏教用語で四有(生有・本有・死有・中有)の1つで、人が死んでから次の生を受けるまでの間を言い、生命が永遠に継続・連続していることを頭わす。

中有の実態は、有情非情を含む森羅万象である。無限の転生を経て、その間の生(本有)の因がその存在を規定する。所謂、業報である。移動の速さは瞬時であり、存在空間は宇宙である。生有(生まれ変わり)までを49日と言つが、法要で儲けるための欺瞞である。中有の思つが儘、生まれたいときを選ぶ。何処に何に生まれるかも自由自在である。100年後・地球でない天体・人間でないかもしれない。このような輪廻転生は、わが国では多くの人に信じられており、娑婆世界に生れかわる六道輪廻は有名である。地獄・餓鬼・畜生などに再生したくないものです。

老人クラブの平均年齢は、約80歳と言われていますが、そろそろ中有となつた時の終活準備が必要となります。

極めて単純明快そして簡単な方法があります。それは、自分の周りの縁のある人々の幸せを願い献身することです。先ずは優しい微笑みと励ましから。やってみると気味悪がって逃げられます。その継続こそ大切です。

グラウンド・ ゴルフクラブの 設立

天伯校区
天伯シニアクラブ和みの会
鈴木訓司

天伯シニアクラブ和みの会は平成31年(令和元年)4月より豊橋市老人クラブ連合会再入会(豊橋市老人クラブ連合会に平成17年迄入会)令和3年4月にグラウンド・ゴルフクラブを会員10名でスタート致しました。

幸い隣の豊栄町グラウンド・ゴルフ同好会は二十数年の経験のあるチームです。和みの会は1年半実績ですが同好会の波田野文雄会長をはじめ会員の皆さんの御厚意で合同練習して頂く事になり、豊栄町内のトレーニングセンターグラウンドで毎週土曜日午前8時よりコロナの感染対策をしながら練習を楽しく行っております。和みの会の皆さんはグラウンド・ゴルフを始めて年数も少なく未熟な人が多いと思いますが、御指導のほど宜しくお願い致します。

ところで同好会の最高年齢者の清川操さん(男性)は97歳と聞き驚いています。一緒にゲームを体験させて頂きましたが、皆さんに劣ることなくプレーしています。元気の



私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

源を聞きましたら、皆さんと
会えて話し、「試合に参加出
来る事や、何事も自分で進ん
で行動をする」とお話しし
てくれました。また、清川
さんは、平成8年豊栄町の老
人クラブ会長の時代に豊橋市
の指導を受けてグラウンド・
ゴルフを当地に指導普及させ
て頂いた方と聞きました。

*各自の目標は健康保持、親
睦と①各会の競技大会への参
加、②ゆたかクラブ、プロッ
ク大会参加。

ここに一句
老いも好し笑いありグラウン
ド・ゴルフ

高齢者の運転免許 返納どう思うか

天伯校区
天伯シニアクラブ和みの会
西川 誠

今、70代、80代の人は、車
社会の入口が青年期にあたり、マイカーを持つことが夢
でもあり、ステータスでも
あった。サニー、ブルーバ
ード、カローラと大衆車のはし
りであった。このような時代
背景に育った私達が、いま
さに、大きな壁の前に立た
されている。「老化」という
認知機能の低下である。こ
うした背景にあつて、老いから
来る事故が、大きな社会現象
となつて来た。これにどう向
き合つか、今一度考えてみた
い。老後の先に見えて来た風
景だ。「老人の車の事故」、大
きな社会問題だ。

車中心の今、車を持たない
社会がどんなに暮らしにくい
か、またスーパー、病院等に
行くにも車で行くのが当然の
仕様に。即ち免許返納は
社会的弱者に陥る。そこに高
齢者が車を捨て切れない現実

がある。

しかし昨今、老化からくる
老人の事故は目に余るものが
ある。我が家でも家内、子が
運転をやめたらと私を軽く論
す。一度事故を起こせば、今
まで築いてきた社会的信用も
失墜する。単に自分だけの問
題ではなく、相手の家族も、
また、我が家も苦しい現実が見
込んでしまう悲しい現実が見
える。幸いにも長年ゴルフド
免許を保持している自負も
あつて引き際が一層難しい。
しかし更新の都度運転機能
の低下は忍び足でやって来て
いる。頭では判っているのだ
が、返納か、維持か、今一步
をふみ出せず迷っている自分
がそこに居る。

終わりに、返納は個々人の
問題としてだけでなく、もつ
と幅広く議論されるべき社会
の問題でもあろう。

豊橋公園・歴史探訪 吉田城公園に なるんだって

福岡校区
橋良老人クラブ東みどり会
高井 宏昌

身近な公園、豊橋公園を探
索してみました。私が小学校
の頃、豊橋公園に動物園があ
りました。柳生橋駅から市電
に乗り、郵便局前で本線に乗
換え、動物公園前で下車し、
動物園に行った思い出があり
ます。そつた、博覧会、木下
サーカスも行つたつた。

博覧会が入場門、サーカス
はバイクがデカい球体内を爆
音で廻るのが印象的でした。
今の豊橋公園で最初に目に
入るのは戦争時を思わせる
憲兵哨舎で、なぜか背筋を

伸ばし、一礼をしたくなる思
いでした。中に入り、現在の
豊橋公園の案内板、吉田城と
城下町歴史をたどる観光マッ
プ、吉田城案内図、歩兵第18
連隊図があり、一つ一つ見て
読んで現在、過去(歴史)探
索の始まりです。案内板を読
んで写真を見ていて江戸時代
にタイムスリップ、この時代
はお城と城下町が一体化した
生活をしてたのかと、見
入っていました。

江戸時代も終わり明治維新
が始まり、大正、昭和、平成
令和と時代は移り変わり、明
治、大正、昭和は激動の時代、
絶望と希望に向かつて歩ん
で来た様に思いました。

豊橋公園を探索しますと結
構見どころ満載、時間も忘れ
見て回りました。お城、石垣、
お城からの豊川の眺め、池田
輝政は戦国の世をこの様に過
ごしていたのでしょうか。

吉田城跡地は明治20年5月
に歩兵第18連隊移駐完、日清
日露、日中、第一、二次と戦
火が広がって歩兵第18連隊の役
割は甚大であった事かと考え
させられました。豊橋公園の
探索で汗をかき、新緑の中、
良いひと時でした。

黒松の涙 栄校区 北山町老人クラブ若葉会 鎌子 千重

高師緑地公園を体力づくり
で利用しているが、公園内は
樹齢数百年の立派な黒松が手
入れも行き届き公園を緑で
覆っている。特に古木の太い
黒松は、人間で云えば肌にあ
たる松の皮が大きく傷つき
痛々しい姿になっている。こ
の現象を私が小学生の頃まで
遡り回想すると、黒松の幹に



痛々しい黒松を眺め、採集

した松脂は何の目的に使用す
るのだろうかと思つたが、子供
の頃で深くは考えなかつた。
社会人になつてから採集し
た松脂の用途を調べた結果、
松脂は横浜の精製所に送り代
替えカソリンとして、太平洋
戦争当時、戦闘機で戦う為
だった事実を知り、愕然とし
た記憶があります。

昭和16年7月28日、戦時色
に突き進む日本軍が仏領イン
ドシナ進駐に対し、アメリカ
政府は日本に石油の輸出を全
面的に禁止しました。石油の
備蓄も決して多くはない日本
が石油を節約する様通達しま
した。この頃から代替え燃料
として松脂が採集されたと思
います。



そして、4ヶ月後の12月8

日、真珠湾に日本軍が奇襲攻
撃を企て、太平洋戦争が勃
発。3年8カ月余りの戦いの
末、我が国は敗戦国となりま
した。
傷ついた黒松は100本近
くあると思つた。1本いっぽん
観察すると、80年経つた現在、
傷口にモルタルで養生してあ

るが、痛い痛い涙(松脂)
を流し無言の訴えをしている
様に思えてなりません。

小学校150周年 賀茂校区 第一委員会 繁原 央

今年(令和5年)の学制発布
から150年の節目にあたる
ので、全国の小学校で祝典が
開かれていよう。賀茂小
学校でもドローンで空から学
校を撮影してホームページに
載せたり、小学6年生の「総
合」の授業で小学校の歴史を
調べたりしているという。こ
どもたちが郷土を知るきつ
けになれば喜ばしい。

賀茂小学校は、現在鉄筋3
階建ての立派な校舎だが、そ
の前は木造2階建てであつ
た。さらにその前は木造平屋
の校舎だつた。平屋建てから
2階建てに新築されたのは昭
和33年のことで、75歳の団塊
世代より前の人はこの古い校
舎の記憶がおぼろげながらあ
る。私も小学5年の時、校舎
建て替えのため照山にあつた
旧双和中学に通つたものだ。

昭和33年に建て替えられた
古い小学校が、移築されて
残っていると聞いたのはいつ
だつたらうか。そのことを6
年生担任の先生に話したとこ
ろ、6年の児童たちから見た
いという声があつた。移築
先は賀茂の鶴巻と栗八名の公
会堂になつている。

9月の晴れた日、校長先生
も加つて十数名でフィール
ドワークに出かけた。明治43
年と大正4年に建てられた旧
教室は、その面影を残しつつ
も改造されていた。2つあつ
た教室の1つは集会用に残さ
れ、残りの半分は床が取り払
われて土間になつている。お

日待ちをするためである。そ
れらをこどもたちは全員タフ
レットを持って、写していた。
文明の利器は歴史的建造物調
査にも發揮され、頼もしいか
ぎりであつた。

ゴルフ川柳 津田校区 西日進会 笹野 壽

私は、長年教員をしてきま
した。30才を過ぎたころ、友
人に誘われてゴルフを始め
ました。しかし、私は部活動の
顧問をしていたので、ゴルフ
コースに出るのは、夏休み、
冬休みなどの長期休業中のご
く限られた日だけでした。だ
から年間に3、4回くらい
コースに出られれば良いほう
で、前回の失敗を忘れたころ
にクラブを握るので、すから、
技量が上達するはずもありま
せん。

退職してからは、同僚のゴ
ルフ仲間に入れてもらい、毎
週コースに出られるようにな
りましたが、スコアはなかな
かアップしません。
しかし、ゴルフは下手でも、
健康には良いし、友達との会
話が何よりも楽しい。そこで、
私の経験を川柳にしてみました。

・ドライバーに替えて飛ばないぞー
・フェアランド振りばりて「早打てよ」
・あと10センチ後ろにさがれば白旗よー
・入れバーで往復ジャンプ「回た」
・「あつーまたト」を思つたらベタピンだ
木の多やけくぞ打つたらラフ折れ
・バンカーで4回打つてやと垂り
・打ちおろし軽く振つたらラフ飛ひ
・番手1ル池がなれば勝つたのに
・ラフコンペで目を負けたは風のせい
《ゴルフ用語が多いですが、
意味の分からない方は、ゴルフ
をやっている人に、聞いて
下さい。》

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

過去を振り返るよ...

飯村校区
シニアクラブ同好会
田中 教雄

老人クラブで配られた新聞の随想欄は、先輩方や皆様と同じ想いをしながら、ここまですり詰まってきた事が随分同調すると同時に、過日を懐かしく思い出して読ませてもらうています。

戦後の物資が不足した時に、代用品の学用文房具で勉強したこともありました。また魚の鮭皮から皮革製品が作られましたが、使った後は箱などへ収納しないと、猫のタマちゃんに物陰に運ばれて、ハグハグと咬まれる恐れがありました。それと「ゴム製の生活物資も多方面に利用されました。

しばらくして日本経済も復興し、神武景気が到来しました。そして就職列車が次々と若者達を大都会へ送り込み、明るい未来の夢をはぐくんできてくれました。ところが困った事に、トレットペーパーが店頭から消えてしまった事が発生しました。あっち、こっちと駆けずり回りましたが何が原因だったのかな？

この地方は、大気汚染による四日市喘息とか伊勢湾台風の襲来や交通事故死の日本一とかの災難があり、えらい目に遭いました。

この世の歴史は繰り返す...と言われています。ところがこれが楽しくて良い事が少ないのが残念・無念です。

温暖化現象によるものと思われる異常気象が、大雨や台風を襲来させて被災地が増え続

つれづれなるままに...

高山校区
南ふれあいクラブ
鳥居 宣行

職場を退職して早、8年

さあ、自由気ままに国内外を旅行したり、自由な心とときを満喫しながらこれからは生きていこうと思いきや、そこに待っていたのは、新型コロナウイルスによる行動制限。そして、田安・物産高、ロシア・ウクライナ戦争に朝鮮半島問題など、私たちが取り巻く環境が大変厳しいものになってきたことです。やっと手に入

れかけていたささやかな老後の生き方が、一瞬にして崩れかけてしまいました。果たして、残り少ない人生をこのままでいいのでしょうか。そんな悩みを持ちながら、結局何も行動することなく毎日が通り過ぎて行きます。

そんな折、ふと、私の脳裏に浮かんだことがあります。それは、人間にとって幸せな生き方とは何だろうかということ。高山に住む私にとって、自然が目の前にあり、また、田んぼや畑があります。遠くに目をおくことなく、身近な足元で自分のできることを一生懸命やっていると、喜びを見いだしていくことが幸せな生き方ではないかと

言っています。枕草子の冒頭に「こう記されています。春はあけぼの。(略)。夏は夜。(略)秋は夕暮れ。(略)。

けております。そこで考えたのが「自分がこれまでに見た事や体験したことを参考に生活方針を決めよう」と。これで少しは良くなるのでは?と期待しています。

戦争にまつわる私の体験(抄)18

二川南校区
二川南町寿会
山本 民男

当時の学校では給食はなく昼飯は弁当持参です。質素、質素で「警沢は敵だ」と云わ

れた時代で、弁当箱のご飯の真ん中に梅干を入れた日の丸弁当がお手本でした。他のおかずは無いのですよ。蓋を開けると日の丸の旗の模様ですが、弁当箱の蓋に穴があきやすいのが欠点です。

ある時梅干しの数で競争することになりました。私の家には大梅しか無いので最初から負けです。どんなに頑張っても4つは食べられません。素封家と云われる家の子と校長先生の息子の一騎打ちとなりました。23個くらいまでは競争していたようですが、どちらが勝ったかは覚えがありません。

これは中学の先輩から聞いた話ですが、中学で先生が生徒の弁当を見て、「君たちの弁当は贅沢すぎる。前線の兵士を思い、もっと質素なおかずにしなさい」とお説教しました。

次の日、1人が八百屋で生姜を買って登校し、1人が味噌を持ってきて、クラス全員

が生姜に味噌を付けて食事をしたそうです。それも先生に見せびらかすようにして、当時先生と生徒は教室で一緒に食事をするのが通例になっていました。先生は変な顔をして見ていたようですが、なにも云わなかったので2日ほど止めたそうです。

HELP! ゲートボールが SOS

牟呂・汐田校区
外神豊寿会
鈴木喜久男

第46回ゲートボール大会は高山チームの優勝で去年に続いての連覇です。46年も続くこの大会も年々参加チームが

少なくなり、今年は9チームで、来年は8チームかそれ以下になりそうで、そもそも大会自体が無くなりほしくないかと危惧される状態です。

シルバースポーツの衰退は著しく、特にゲートボールは危機的状況です。チームは5人必要で、その5人が集まらないチームが続出していま

す。高齢化と新しい人が入ってこないのが原因です。これはシルバークラブについても言えることです。特に女性が入らないので、女性部長の選出が出来ず、市老連から抜けるを得ないという事態が起こりつつあります。私個人で言えば、母から人数が足りなくて試合に出られないと泣きつかれて始めました。

外神豊寿会の協力のもと、外神公園でゲートボールを始め、牟呂チームの復活は

きたのですが、いざ他の町内に広めようとしてもなかなか進みません。他の単位クラブの会長にゲートボールを勧めても、全く暖簾に腕押し。もう今はシルバークラブの役員経験者に助けてもらう以外、道はありません。

老人クラブに支えられて

多米校区
第一和来会
中野 治美

私は老人クラブ(第一和来会)在籍8年目、73才をひた

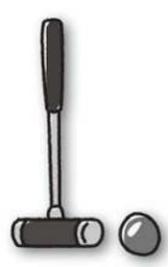
走るおばあちゃん。60才を過ぎた頃、夫を病気で亡くしましたが、その喪失感から簡単には抜け出せませんでした。そんな時、誘われて入ったのがこの老人クラブでした。ここでの地域の人たちと共に活動できる楽しさに、喪失感から解放され、前向きに過ごせる喜びを見いだすことができました。加えて、元気なうちはと長年夢だった一人住まいも始めました。老人クラブにて、カラオケ、吹き矢、グラウンド・ゴルフに

と積極的に参加しています。個人的には、20年程ボウリングや琴も楽しんでます。現在、このクラブでの私は、女性部長の役職を任せられて、サロンの運営にも当たっています。会員の皆さんの協力もあって、毎月1回のサロンは、60回を数えることができました。内容は、七夕の会、ソーマンを食べる会、クリスマス会、バーベキューなどに加え、出前講座なども行っています。「皆さんで楽しみましょう」がモットーです。

会長は、サロンの場を同世代の人たちの居場所にしたとの強い思いがあるようです。積極的に新しい事に取り組み、場を盛り上げていく姿に後押しされてサロン運営ががんばっています。又、人に与えられた平等の時間が、私にはとても貴重に思えます。これからも元気よく、大いに楽しみながら、この楽しさを1人でも多くの同世代の人たちへ、活動の輪を拡げたいと思います。

最近、口が我儘になったのか老い故か、後一口が二口食すればかたつくのに喉を通らず食べ残す事が多くなりました。幼児期、両親が早逝し祖父母に養育されたが、終戦後の食糧難の時代、取り分けて与えられた総菜は残さず食べるように教育された。88人の労力が有って米になるのだからと、「ご飯も一粒残さずに食べよう、教えられて育った。若い頃はそれが当たり前です。供達にもご飯粒を残さずに食

べるように育てた。それなのに今、食べ残しを生ごみに出す事が申し訳なく、罪の意識に脅え乍ら「御免なさい。蜜柑の肥料になって下さい」と詫言ひて庭の甘夏の根元にその都度、埋める様になっている。世界には飢餓で苦しむ人が大勢いるのに、沢山の食べ物が捨てられていると云う。廃棄される食糧のうち、未だ食べられるのに捨てられる分を「食品ロス」と云う。日本の食品ロスは年間522万トン(2020年推計)。日本人1人が1年間で41キロ分、茶わん約1杯分のご飯を毎日捨てている計算になるのだそう。食品ロスは食品製造業、外食産業などから発生する「事業系」と一般家庭から発生する「家庭系」に大別され、年間排出される522万トンの約半分は、家庭からの食品ロスなのだそう。家庭で発生する食品ロスには、野菜の皮や葉・芯や、肉の脂身・皮など食べられる部分まで捨てる「過剰除去」、必要以上に食材を買い過ぎてしまい込んで賞味期限切れにしてしまう「直接廃棄」、料理を作り過ぎて私も常時失敗して後悔する「食べ残し」に分別される。自身の行動に当ってはまる事ばかりで有る。今後、綺麗な人参は皮を剥かずに料理しよう。メモして出掛け、必要以上に買い込まないようにして、値引き、半額商品に惑わされないように気を付けよう。冷蔵庫を小まめに点検し、食べ切れるだけの総菜作りを心掛けよう。飢餓に苦しみ、一杯の暖かいスープも満足に飲む事が出来ない難民の人々を想い、明日と云わず今日から、是非心掛けたいと思っている。



きたのですが、いざ他の町内に広めようとしてもなかなか進みません。他の単位クラブの会長にゲートボールを勧めても、全く暖簾に腕押し。もう今はシルバークラブの役員経験者に助けてもらう以外、道はありません。

きたのですが、いざ他の町内に広めようとしてもなかなか進みません。他の単位クラブの会長にゲートボールを勧めても、全く暖簾に腕押し。もう今はシルバークラブの役員経験者に助けてもらう以外、道はありません。

会員文芸

俳句

■八町校区 中八老人クラブ
朝霧が陽を遮るや旅の宿

白谷 秀夫

■飯村校区 第二飯寿会
神の留守皆既月食始まりぬ

佐野 栄子

秋の灯に行間狭き文庫本

廣中 雅子

■杉山校区 高明日望会
初夏の夜やわれに贈らる祝い歌

井土 幸子

乾杯す敬老の日の向い膳

中神佐和子

■岩田校区 東岩田長寿会
枝払い姿そろうて薄紅葉

加藤カツエ

一人夜の渋茶ひとしほ秋や沁む

千賀 芳彦

■吉田方校区 若波会
紅梅の香り我家を包みけり

河合 昭子

■天伯校区 天伯シニアクラブ和みの会
只今と内を打つメロンをくれる

西川 誠

■福岡校区 橋良老人クラブ東みどり会
わが老いの自覚ますます秋彼岸

田中 幸三

さざなみが夕日に映える三河港

高井 宏昌

■小沢校区 第三寿会
金木犀久方ぶりの父祖の墓

外山 孝子

■小沢校区 第二寿会
ひとすじの夕日に赤い飛行機雲

本馬 孝子

■大清水校区 第二きさらぎ会
はざかけし実り感謝の祭り笛

花井 博行

■大清水校区 第一豊松会
松茸やインスタ映えの浮世かな

鈴木 正子

■大清水校区 第二豊松会
赤トンボ庭先かすめ低飛行

藤村 元司

■大清水校区 第二豊松会
父遺品無言の教え秋彼岸

平山 勝

■老津校区 第一喜楽会
やはらかき入日背に乗せ冬の鵞

石田 初江

長き夜は曾孫の動画にはまりけり

三浦 松代

八十路坂のぼりひととせ冬支度

彦坂 博子

末孫に語る地方史夜長かな

鈴木 純夫

楽しきは虫集く夜の白ワイン

別所 善子

佇めば上野の山の帰り花

明星 節子

うっかりと陽に恋をして返り花

澤山十糸子

蹲踞の小さき水音そぞろ寒

高橋いすゞ

■幸校区 南松原寿会
木漏れ日の落葉舞い散る思い出道

久しく通り涙あふれる

伊藤富士子

秋空に高くのびのび咲く花よ

その名誇らし皇帝ダリア

金子 浩吉

採け防止毎朝ひとつ数独を

解ひてひと日の清かに始む

大橋 睦子

■幸校区 牧野町長寿会
金木犀花はかほりて辻々に

あまたの人の心なごませ

宮田 建夫

深山路の開拓進む断崖に

根もとあらわに山つつじ咲く

山本 久子

■吉田方校区 若波会
九十路新緑山路ふみしめて

父母の墓前に感謝の涙

河合 昭子

早朝に子雀道路を横断す

小さな獲物を落として拾ひ

大木 篤子

マイカーを手離ししより食べ物の

変化の多し鮮魚達のく

丸山三三四

たつぷりと墨を含ませゆつたりと

大文字書くは気持ちよきなり

横山 宣世

■吉田方校区 菰口町寿会
幸せな記憶をつむぐ森の中

バージンロードを夫と娘の歩む

杉浦尊香子

■天伯校区 天伯シニアクラブ和みの会
母と来し丘に立つれば悠然と

雲は無言に吾に語らん

西川 誠

■津田校区 進誠会
冬至の日食べる習慣土間のすみ

南瓜ならべたくわえておく

田中 英代

■津田校区 榮栄会
厨より夫の煎れたるコーヒーの

香に包まれる朝のひととき

中島タエ子

■小沢校区 第二寿会
青い空群れなして飛ぶ秋アカネ

ひ孫よろこぶ夕暮の庭

本馬 孝子

■岩田校区 北岩田三区福寿会
臉綴じ一日に思い巡らして

秋の夜長に雨音を聞く

神藤ふさ代

登りより下りに老いを感じつつ

萩咲く山道友と下りぬ

伊藤みつよ

この地に住む中学生の男女孫

修学旅行の土産いろいろ

城 憲男

側溝と道路の隙間コスモスが

芽を出し初め倒れても咲く

藤田ひな子

豊作の柿色づきて目に止る

鳥たわむるる早や神無月

大野 興子

■大清水校区 第一豊松会
新米を食めば戦後の結核の

兄の死に際「飯が食いたし」

鈴木 正子

■大清水校区 第二豊松会
フレイルの怖さ学びてシニア達

かかと上げ下げお尻ふりふり

藤村 元司

■植田校区 植田白寿会
前跳んだ溝の前にて後ずさり

松井 徳之

■八町校区 中八老人クラブ
少子化は国の行方を憂うもの

白谷 秀夫

■幸校区 南松原寿会
元気でねと手編みのベストそと出し

伊藤富士子

■中野校区 中野おあしす会
マスクして老人会は若返る

彦坂 吉尚

台風に耐えてた柿も鳥が先

彦坂くみ子

■吉田方校区 若波会
昭和生き令和の平和祈る春

河合 昭子

■天伯校区 天伯シニアクラブ和みの会
今寿かなあのころが一番幸せだった

西川 誠

■岩田校区 東岩田長寿会
お若いね世辞で嬉しい高齢さ

千賀 芳彦

■東田校区 仁連木・東郷寿会
バラの花棘を隠してにつこりと

板橋 章一

曾孫の名で怜海斗・季波・絆乃と読む

鳥 正行

毎日がコロナ怖くて街に出ず

河合 正年

花たちがお迎え優しく小さな庭

瀧本里恵子

愛犬と歩く幸せいつまでも

大林 勝代

半世紀共に暮らした二人旅

小椋かつ子

曼殊沙華夫婦ゲンカは赤が冴え

谷中ヒロ子

幸せに気づかずにいる無事の日々

藤井 克代

彼岸入りやつぱり来たね足の冷え

後藤マサ子

水飲めば結果が良いか血液値

榎島 謙一

■大清水校区 第二きさらぎ会
オレオレ詐欺新聞見ては我身

花井 博行

■大清水校区 第一豊松会
ペイペイの払い戸惑うスマホ持つ

石川 重幸

好きだったあの人の名前出てこない

彦坂 昌代

流されて渡れぬ川の恨めしや

鈴木 正子

■大清水校区 第二豊松会
メニュー見てまだかまだかの腹の虫

藤村 元司

携帯の通話口にもマスク掛け

彦坂 登

■大清水校区 柳風会
世話をやく妻の言葉は上の空

平山 憲子

美酒ありて妻ありてこそ八十路央

仲井 丈二

ひたひたと老いに攻められやばい日々

近藤 庸子

■大清水校区 第一きさらぎ会
宝くじ大きな夢を獲が喰い

森 進吾

■福岡校区 小池元町百寿会
老いてなお夢は大きく持ち続け

中野美美子

■野依校区 野依ふれあいクラブ
見え隠れ乙女か婆か露天風呂

村田勇一郎

■牟呂・汐田校区 外神豊寿会
豊寿会刺激を貰いボケ防止

中西 喜子

短歌

■豊校区 西岩田親睦クラブ
桜しべ降るぶらんこに揺れりたり

だあれもゐないだあれもこない

金田 英子

■津田校区 進誠会
冬至の日食べる習慣土間のすみ

南瓜ならべたくわえておく

田中 英代

■植田校区 植田白寿会
前跳んだ溝の前にて後ずさり

松井 徳之

■八町校区 中八老人クラブ
少子化は国の行方を憂うもの

白谷 秀夫

■津田校区 進誠会
冬至の日食べる習慣土間のすみ

南瓜ならべたくわえておく

田中 英代

■植田校区 植田白寿会
前跳んだ溝の前にて後ずさり

松井 徳之

■八町校区 中八老人クラブ
少子化は国の行方を憂うもの

白谷 秀夫





西郷校区は「平野町長寿会」「西川東部長寿会」「中山町老人クラブ若葉会」の4つの単位クラブで構成されており、現在会員数は325名(男性158名、女性167名)です。豊橋市の最北部に位置する西郷校区は緑豊かな自然に囲まれた校区で、年末は名産品の次郎柿の収穫で大忙し。ほかにも梨やブドウなど、果樹栽培が盛んな地域です。

◆体力測定の後
令和2年に、さわらび地域



西川西部長寿会
山田 俊和 会長

《インタビュー》
単位クラブ紹介
西郷校区老人クラブ連合会にお邪魔しました。
インタビュー／(株)博報社

◆コロナ禍で取り組んだ
三世交代事業
保育園の園児たちと芋掘りや花植え、小学校低学年と昔あそびなど、さまざまな活動をしてきました。また令和4年1月には、学校関係者と校区老人クラブ連合会の連携で小学校児童を対象にオンラインによる民俗資料収蔵館の見学を実施しました。遠く離れた教室にタブレットで映した映像を送り、施設を紹介するなど、時代に即した新しい取り組みを試みました。しかし子どもたちの質疑応答や器具の説明などは、対面でのコミュニケーションの重要性を改めて実感。今年度は、ぜひ現地での見学を開催したいと考えています。

◆ニースポーツへの取り組みと
会員増強へのつながり
コロナ禍に多くのニースポーツを模索する中で屋内スポーツのポッチャに注目しており、夏には今川会長はじめ役員で講習を受けました。多くの会員に広げていくためにも、まずは役員・単位クラブ会長がしっかりとゲーム内容を把握することが大切。面白い競技なので、今後企画を進めたいと考えています。



お楽しみの
ビンゴゲーム

◆西郷校区の中山町老人
クラブ若葉会会長の声
コロナ禍でなかなか行事が進まない現状があります。そんな状況でも続けてきたのが月2回行っている地元神社の清掃活動。そして皆で食事や談笑、行事の報告や意見交換などを行う9回の定例会です。今後は状況をみながら日帰り旅行や誕生日会など、会員が楽しみにしている行事を再開したいと考えています。



中山町老人クラブ若葉会
白井 孝昌 会長

りや花植え、小学校低学年と昔あそびなど、さまざまな活動をしてきました。また令和4年1月には、学校関係者と校区老人クラブ連合会の連携で小学校児童を対象にオンラインによる民俗資料収蔵館の見学を実施しました。遠く離れた教室にタブレットで映した映像を送り、施設を紹介するなど、時代に即した新しい取り組みを試みました。しかし子どもたちの質疑応答や器具の説明などは、対面でのコミュニケーションの重要性を改めて実感。今年度は、ぜひ現地での見学を開催したいと考えています。

ゆたかクラブ豊橋からのお知らせ

趣味の教室発表会 日程表

ブロック名	開催日時	開催場所
高師	令和5年3月20日(月)	高師老人福祉センター
大清水	令和5年2月11日(土)	大清水地域福祉センター

※今後の新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては、中止となる場合がございます。※仁連木・つつしが丘・大岩・牟呂・下地・石巻・八町ブロックは、今年度は開催しません。

ご協賛各位へのお礼

この度「吉田春秋」の発刊にあたりまして、広告掲載のご協力を賜り誠にありがとうございました。本紙は、会員が生きがい・健康・教養を高めながら交流の輪が広がるよう願って刊行いたしております。今後とも何とぞ末長きご厚誼、ご支援をお願いいたします。

ゆたかクラブ豊橋

編集後記

吉田春秋をお届けします。今号もたくさんのご投稿をいただき、ありがとうございました。広報文化部では、皆さま方のご意見・投稿などをお待ちしております。

今後も読みやすく楽しい紙面づくりに努力してまいりますので、よろしくご支援をお願い申し上げます。ゆたかクラブ豊橋 広報文化部

原稿募集

- ◎校区活動、単位クラブ活動、俳句、短歌、川柳、随想などの投稿を募集します(写真を添付いたたく場合はきれいなものをお願いします)。
- ◎原稿用紙600字。俳句・短歌・川柳については各1点ずつお願いします。
- ◎原稿は、市内在住の市老連に加入している方に募集しています。必ず、校区名・単位クラブ名・氏名を明記してください。
- ◎紙面の都合上、やむなくカット・見送る場合があります。
- ◎締め切り/5月末日
- ◎投稿先/ゆたかクラブ豊橋事務局 (豊橋市今橋町1番地・豊橋市役所長寿介護課内) ☎51-2337

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています